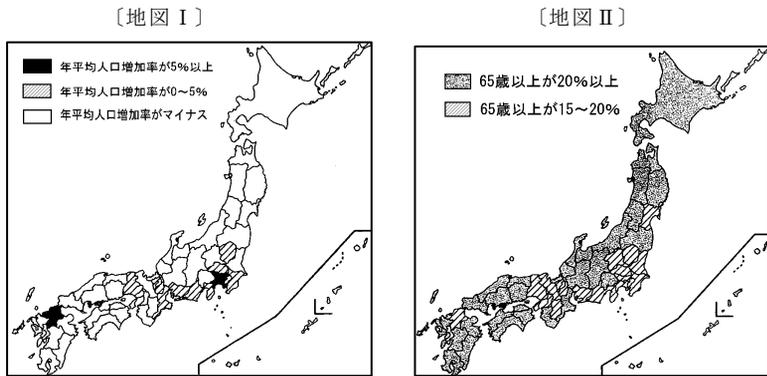


得点		演習問題	実施日	月 日	氏名
		単元名：日本と世界の人口 ③			

【1】 次の略地図は、日本の人口について考えるために作成したものである。これらを見て、あとの問いに答えなさい。



(1) 略地図をもとに、各都道府県における 65 歳以上の人口の割合とその地域の特色について述べた文として最も適当なものを、次のア～エの中から選び、その記号を答えなさい。
()

- ア 京浜工業地帯、中京工業地帯、阪神工業地帯をそれぞれ形成する都道府県は、いずれも 65 歳以上の割合が 20%以上である。
- イ 一般に山間部では 65 歳以上の人口の割合が多く、飛騨山脈の山々がふくまれるいずれの都道府県も 65 歳以上の人口の割合が 20%以上となっている。
- ウ 日本海側に位置するいずれの都道府県も海に面して工業地帯が広がっており、産業に従事する若者が多いため、65 歳以上の人口の割合は 15%未満となっている。
- エ 65 歳以上の人口の割合が 15%以上 20%未満のいずれの都道府県にも新幹線が通っており、地域の中核的な都市を結んでいる。

(2) 次の文の()にあてはまる語句を下のア～ウの中から選び、その記号を答えなさい。()

〔地図Ⅰ〕に示された 65 歳以上の人口の割合が 20%以上の都道府県の分布は、〔地図Ⅱ〕に示された平均人口増加率が()の都道府県の分布によく似ている。

- ア 0.5%以上 イ 0%以上 0.5%未満 ウ マイナス

【2】 下の地図とグラフを見て、次の問いに答えなさい。



(1) 上のグラフは、三大都市圏の全国の人口にしめる割合を示している、グラフ中の A～C にあたる都市圏を、地図中のア～ウの中から選び、その記号を答えなさい。
A() B() C()

(2) 世界の人口密度(44 人/km²)に比べ、日本の人口密度は高い。1 km² あたり約何人ですか。次のア～ウの中から選び、その記号を答えなさい。()

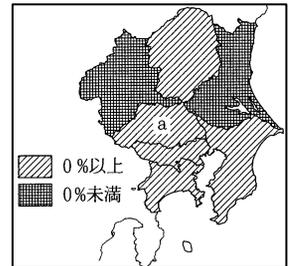
- ア 242 人/km² イ 342 人/km² ウ 442 人/km²

(3) 次の文の()A、B にあてはまる語句を答えなさい。
A() B()

日本の農村漁村の生活は、(A)化・高齢化が進んでいる。とくに、(B)を中心に都市への人口流出が続いている。

【3】 次の各問いに答えなさい。

(1) 大都市の周辺では、交通機関の発達などにもない、商工業や生活の面で大都市と深く結びついている都市がみられる。このような都市を何といいますか。
()



(2) 下の表は、関東地方において東京都と A～F で示した 6 県の、2003 年 10 月～2004 年 9 月の 1 年間の転入転出による人口増加率と、2000 年 10 月の夜間人口、2004 年の人口密度を示している。また上の地図は、表中の人口増加率をもとに 1 都 6 県を 2 段階に分けてあらわしたものである、次の①～③の問いに答えなさい。

	転入転出による人口増加率(%)	夜間人口(千人)	人口密度(人/km ²)
東京都	0.45	12,017	5660
A	-0.15	2,985	490
B	0.01	2,004	314
C	-0.10	2,020	320
D	0.00	6,925	1856
E	0.04	5,915	1171
F	0.24	8,475	3615

① 地図中の 1 つである東京都では、昼間人口と夜間人口との間にどのような関係がみられるか。次のア～ウの中から選び、その記号を答えなさい。()

- ア 昼間人口の方がいちじるしく多い。
- イ 夜間人口の方がいちじるしく多い。
- ウ 昼間人口と夜間人口が、ほぼ同数である。

② 地図中に a で示した県を、表中の A～F の中から選び、その記号と県名を答えなさい。(記号 県名)

③ 表中の東京都の転入転出による人口増加率が最も高くなっているおもな要因を、「都心」、「再開発」の 2 つの語句を用いて、簡単に答えなさい。

[]

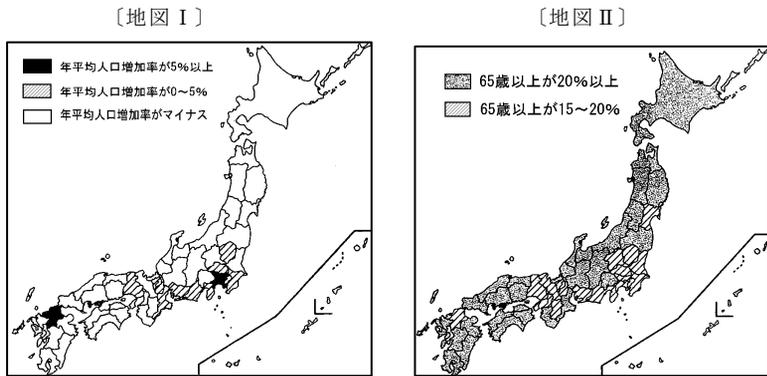
(3) 東京の都心から 50km 圏内にはさまざまな都市が発達し、これらの都市のまとまりを東京大都市圏といっている。これについて、次の①・②の問いに答えなさい。

- ① 東京大都市圏の人口は約何千万人ですか。【2】のグラフ参考にして答えなさい。() 万人)
- ② 東京大都市圏の都市問題として正しくないものを、次のア～エの中から選び、その記号を答えなさい。()

- ア 大量の地下水のくみ上げによる地盤沈下。
- イ 工場や交通機関などが起こす騒音や振動。
- ウ アスファルトの道路の増加による気温低下。
- エ 人口の過密による通勤の混雑や交通の渋滞。

得点	演習問題〔解答〕	実施日	月 日	氏名

【1】 次の略地図は、日本の人口について考えるために作成したものである。これらを見て、あとの問いに答えなさい。



(1) 略地図をもとに、各都道府県における 65 歳以上の人口の割合とその地域の特色について述べた文として最も適当なものを、次のア～エの中から選び、その記号を答えなさい。
(イ)

- ア 京浜工業地帯、中京工業地帯、阪神工業地帯をそれぞれ形成する都道府県は、いずれも 65 歳以上の割合が 20% 以上である。
- イ 一般に山間部では 65 歳以上の人口の割合が多く、飛騨山脈の山々がふくまれるいずれの都道府県も 65 歳以上の人口の割合が 20% 以上となっている。
- ウ 日本海側に位置するいずれの都道府県も海に面して工業地帯が広がっており、産業に従事する若者が多いため、65 歳以上の人口の割合は 15% 未満となっている。
- エ 65 歳以上の人口の割合が 15% 以上 20% 未満のいずれの都道府県にも新幹線が通っており、地域の中核的な都市を結んでいる。

(2) 次の文の()にあてはまる語句を下のア～ウの中から選び、その記号を答えなさい。
(ウ)

〔地図 I〕に示された 65 歳以上の人口の割合が 20% 以上の都道府県の分布は、〔地図 II〕に示された平均人口増加率が()の都道府県の分布によく似ている。

- ア 0.5% 以上 イ 0% 以上 0.5% 未満 ウ マイナス

【2】 下の地図とグラフを見て、次の問いに答えなさい。



(1) 上のグラフは、三大都市圏の全国の人口にしめる割合を示している、グラフ中の A～C にあたる都市圏を、地図中のア～ウの中から選び、その記号を答えなさい。
A(ウ) B(ア) C(イ)

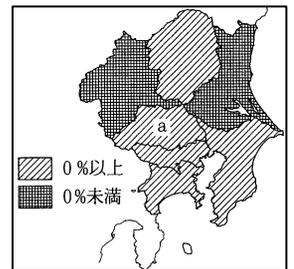
(2) 世界の人口密度(44 人/km²)に比べ、日本の人口密度は高い。1 km² あたり約何人ですか。次のア～ウの中から選び、その記号を答えなさい。
(イ)
1 億 2700 万人 ÷ 37 万 km² = 約 343 人/km²
ア 242 人/km² イ 342 人/km² ウ 442 人/km²

(3) 次の文の()A、B にあてはまる語句を答えなさい。
A(過疎) B(若者)

日本の農村漁村の生活は、(A)化・高齢化が進んでいる。とくに、(B)を中心に都市への人口流出が続いている。

【3】 次の各問いに答えなさい。

(1) 大都市の周辺では、交通機関の発達などにもない、商工業や生活の面で大都市と深く結びついている都市がみられる。このような都市を何といいますか。
(衛星都市)



(2) 下の表は、関東地方において東京都と A～F で示した 6 県の、2003 年 10 月～2004 年 9 月の 1 年間の転入転出による人口増加率と、2000 年 10 月の夜間人口、2004 年の人口密度を示している。また上の地図は、表中の人口増加率をもとに 1 都 6 県を 2 段階に分けてあらわしたものである、次の①～③の問いに答えなさい。

	転入転出による人口増加率(%)	夜間人口(千人)	人口密度(人/km ²)
東京都	0.45	12,017	5660
A	-0.15	2,985	490
B	0.01	2,004	314
C	-0.10	2,020	320
D	0.00	6,925	1856
E	0.04	5,915	1171
F	0.24	8,475	3615

① 地図中の 1 つである東京都では、昼間人口と夜間人口との間にどのような関係がみられるか。次のア～ウの中から選び、その記号を答えなさい。
(ア)

- ア 昼間人口の方がいちじるしく多い。
- イ 夜間人口の方がいちじるしく多い。
- ウ 昼間人口と夜間人口が、ほぼ同数である。

② 地図中に a で示した県を、表中の A～F の中から選び、その記号と県名を答えなさい。(記号 D 県名 埼玉県)

③ 表中の東京都の転入転出による人口増加率が最も高くなっているおもな要因を、「都心」、「再開発」の 2 つの語句を用いて、簡単に答えなさい。

〔近年、都心に高層住宅が建設されるなど再開発が行われたから〕

(3) 東京の都心から 50km 圏内にはさまざまな都市が発達し、これらの都市のまとまりを東京大都市圏とっている。これについて、次の①・②の問いに答えなさい。

- ① 東京大都市圏の人口は約何千万人ですか。【2】のグラフ参考にして答えなさい。(3000 万人)
1 億 2700 万人 × 0.26 = 約 3300 万人
- ② 東京大都市圏の都市問題として正しくないものを、次のア～エの中から選び、その記号を答えなさい。(ウ)

- ア 大量の地下水のくみ上げによる地盤沈下。
- イ 工場や交通機関などが起こす騒音や振動。
- ウ アスファルトの道路の増加による気温低下。
- エ 人口の過密による通勤の混雑や交通の渋滞。